

大学番号：国037

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

富山大学 工学部
生命工学科
環境応用化学科
材料機能工学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

総務部企画評価グループ

グループ長 秋山 弘樹

電話番号 076-445-6522

(夜間) 076-445-6522

FAX 076-445-6244

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、

その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	7
	〈生命工学科〉	7
	〈環境応用化学科〉	14
	〈材料機能工学科〉	20
3	既設大学等の状況	28
4	教員組織の状況	30
5	その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名

富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

(注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次人	人	・ 編入学定員 変更前 3年次学部共通 30人 平成22年4月 3年次学部共通 20人に変更(22)
生命工学科	4	52		208	
環境応用化学科	4	52	3年次 学部共通 20	208	
材料機能工学科	4	51		204	
学士(工学)					

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

工学部生命工学科

対象年度 区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	52 (-) [-]		52 (-) [-]		52 (20) [-]		52 (20) [-]		1.02倍 編入学定員は 学部共通20人	
志願者数	201 (-) [3]	(-) [-]	155 (-) [3]	(-) [-]	214 (3) [2]	(-) [-]	192 (2) [3]	(-) [-]		
受験者数	193 (-) [2]	(-) [-]	152 (-) [3]	(-) [-]	159 (3) [2]	(-) [-]	155 (2) [3]	(-) [-]		
合格者数	64 (-) [1]	(-) [-]	74 (-) [2]	(-) [-]	57 (1) [1]	(-) [-]	63 (1) [2]	(-) [-]		
B 入学者数	53 (-) [1]	(-) [-]	52 (-) [2]	(-) [-]	56 (1) [1]	(-) [-]	53 (1) [2]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.00		1.07		1.01			

工学部環境応用化学科

対象年度 区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	52 (-) [-]		52 (-) [-]		52 (20) [-]		52 (20) [-]		1.04倍 編入学定員は 学部共通20人	
志願者数	240 (-) [3]	(-) [-]	152 (-) [6]	(-) [-]	277 (8) [5]	(-) [-]	252 (-) [10]	(-) [-]		
受験者数	235 (-) [3]	(-) [-]	149 (-) [6]	(-) [-]	273 (8) [5]	(-) [-]	244 (-) [6]	(-) [-]		
合格者数	62 (-) [2]	(-) [-]	71 (-) [6]	(-) [-]	69 (3) [3]	(-) [-]	66 (-) [4]	(-) [-]		
B 入学者数	54 (-) [2]	(-) [-]	57 (-) [6]	(-) [-]	54 (1) [3]	(-) [-]	54 (-) [4]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.09		1.03		1.03			

工学部材料機能工学科

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	51 (-) [-]		51 (-) [-]		51 (20) [-]		51 (20) [-]		1.01倍	編入学定員は 学部共通20人
志願者数	186 (-) [2]	(-) [-]	265 (-) [2]	(-) [-]	124 (10) [5]	(-) [-]	331 (4) [1]	(-) [-]		
受験者数	183 (-) [1]	(-) [-]	261 (-) [1]	(-) [-]	120 (10) [3]	(-) [-]	323 (4) [1]	(-) [-]		
合格者数	59 (-) [0]	(-) [-]	60 (-) [1]	(-) [-]	66 (7) [0]	(-) [-]	62 (3) [1]	(-) [-]		
B 入学者数	51 (-) [0]	(-) [-]	54 (-) [1]	(-) [-]	51 (7) [0]	(-) [-]	51 (3) [1]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.05		1.00		1.00			

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

工学部生命工学科

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 52	[-]	[2] 52	[-]	[1] 60	[-]	[2] 59	[-]			
2年次	/		[1] 51	[-]	[2] 49	[-]	[1] 55	[-]			
3年次			/		/		[1] 51	[-]	[2] 51	[-]	
4年次	/						/		/		[1] 49
計			[1] 52		[3] 103						[4] 160

工学部環境応用化学科

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[2] 53	[-]	[6] 56	[-]	[3] 53	[-]	[4] 54	[-]			
2年次	/		[2] 52	[-]	[5] 64	[-]	[4] 64	[-]			
3年次			/		/		[2] 44	[-]	[4] 58	[-]	
4年次	/						/		/		[2] 39
計			[2] 53		[8] 108						[10] 161

工学部材料機能工学科

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[-] 51	[-]	[1] 58	[-]	[-] 53	[-]	[1] 57	[-]			
2年次	/		[-] 47	[-]	[1] 56	[-]	[-] 51	[-]			
3年次			/		/		[-] 53	[-]	[1] 57	[-]	
4年次	/						/		/		[-] 51
計			[-] 51		[1] 105						[1] 162

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

工学部生命工学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [1]	1.9%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 53人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 1人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [3]	1.0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 52人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 52人	
	(主な退学理由) ・その他(転学科による転出) 1人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 52人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 51人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 57人	
	(主な退学理由)		

工学部環境応用化学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [2]	1.9%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 54人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 1人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [8]	1.8%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 53人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 57人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 1人 ・家庭の事情 1人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [1]	(累積)計 [11]	1.2%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 52人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 56人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 55人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 1人 ・除籍(授業料未納) 1人		

工学部材料機能工学科

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0.0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 51人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [1]	0.0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 51人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 54人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [1]	1.2%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 51人	
	うち平成21年度入学者 2人	うち平成21年度 55人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 58人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 1人 ・家庭の事情 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 生命工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養 科目 人文 科学 系	哲学のすすめ	1・2		2								
	人間と倫理	1・2		2								
	こころの科学	1・2		2								
	現代と教育	1・2		2								
	日本の歴史と社会	1・2		2								
	東洋の歴史と社会	1・2		2								
	西洋の歴史と社会	1・2		2								
	日本文学	1・2		2								
	外国文学	1・2		2								
	言語と文化	1・2		2								
	音楽	1・2		2								
	美術	1・2		2								
	社会 科学 系	社会科学の方法と理論	1・2		2							
現代社会論		1・2		2								
日本国憲法		1・2		2								
国家と市民		1・2		2								
経済生活と法		1・2		2								
市民生活と法		1・2		2								
経済・経営データを読む		1・2		2								
企業と仕事		1・2		2								
世界経済の過去と現在		1・2		2								
日本の経済と産業		1・2		2								
日本の企業経営		1・2		2								
地域の経済と社会・文化	1・2		2									
自然 科学 系	地球と環境	1・2			2	1						
	生命の世界	1・2			2	3 2	3 4					教育体制充実のため教員の追加、退職による変更(20)

	宇宙の構造	1・2		2						授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)
	化学物質の世界	1・2		2	1					退職による変更(20)
	物質の構造	1・2		2						授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)
	量子の世界	1・2		2						授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)
	物理の世界	1・2		2						授業科目の見直しによる科目の追加(22)
	自然と情報の数理	1・2		2						
	社会と情報の数理	1・2		2						
	技術の世界	1・2		2			1			教育体制充実のため教員を追加(20)
	材料の科学	1・2		2						
	生活の科学	1・2		2						
	睡眠の科学	1・2		2						授業科目を見直し平成21年度より「生活の科学」に統合(22)
	コンピュータの話	1・2		2						
	教養原論演習	1・2		4						
総合科目	環境	1・2		2						
	生と死	1・2		2						
	ジェンダー(性)	1・2		2						
	技術と社会	1・2		2						
	現代文化	1・2		2						
	人権と福祉	1・2		2						
	環日本海	1・2		2						
	科学と社会	1・2		2	1					
	現代の世界(時事的問題)	1・2		2						
	トータルコミュニケーション	1・2		2						
	富山学ーわたしの富山	1・2		2						
	心(こころ),身体(からだ),そして生命(いのち)	1・2		2	1					教育体制充実のため教員を追加(20)
	感性をはぐくむ	1・2		2						
	総合科目特殊講義	1・2		2						
日本事情	1・2		6							
外国語科目	英語A	1		4						
	英語B	2			4					
	ドイツ語A	1		4						

共通 基礎 科目	ドイツ語B	2		4						
	フランス語A	1	4							
	フランス語B	2		4						
	ロシア語A	1	4							
	ロシア語B	2		4						
	中国語A	1	4							
	中国語B	2		4						
	朝鮮語A	1	4							
	朝鮮語B	2		4						
	ラテン語B	2		2						
	日本語A	1	4							
	日本語B	2		4						
保健 体育 科目	健康・スポーツ論	1・2	3							
	健康・スポーツ演習	2	2							
	健康スポーツ	1・2	4							
情報 処理 科目	情報処理	1	2			1		1		教育体制充実のため教員を追加 (20)
言語 表現 科目	言語表現	1	2			1	1			
専 門 基 礎 科 目	微分積分 I	1	2							
	微分積分 II	1	2							
	微分積分演習	1	1							
	線形代数 I	1	2					+		授業担当教員の変更 (22)
	線形代数 II	1	2							
	応用数学	2	2			1				
	物理学序論	1	2		1			1		授業担当教員の変更 (22)
	力学・波動	1	2		1	1				授業担当教員の変更 (22)
	電磁気学	2	2		1	+				退職による変更 (20)
	基礎化学	1	2			1				
	無機化学	1	2		1					
	有機化学 I	1	2		1					教育体制充実のため教員を追加 (22)
	分析化学	1	2		1					教育体制充実のため教員を追加 (20)

	物理化学Ⅰ	1	2	1 2	1 1				退職及び授業担当教員の変更(20)
	物理化学Ⅱ	2	2	1 1	1 1				授業担当教員の変更(20, 23)
	基礎生物学	1	2	1	1				授業担当教員の変更(22)
	生化学Ⅰ	2	2		1	1			授業担当教員の変更(20)
	生化学Ⅱ	2	2		1	1			授業担当教員の変更(20)
	生命工学概論	1	2	7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20, 21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	環境応用化学概論	4	2						教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
	材料機能工学概論	4	2						教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
	工学基礎実験	2	1	7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20, 21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	工学基礎演習	2	2	7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20, 21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	専門基礎ゼミナール	1	2	7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20, 21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
専攻科目	生物物理学	2	2	1					
	有機化学Ⅱ	2	2						
	生命有機化学	3 2 3	2	1 1					退職による変更(20) 教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
	高分子材料化学	3 2 3	2						教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
	生物分析化学	2	2	1					
	基礎生理学	2	2		1				
	基礎免疫学	3	2	1					
	生命情報工学	3	2	1					
	タンパク質工学	3	2		1				
	細胞生物学	2	2	1					
	細胞工学	3	2	1					
	遺伝子工学Ⅰ	2	2		1				
	遺伝子工学Ⅱ	3 3	2		1				
	細胞代謝学Ⅰ	3 2 3	2			1			教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
	細胞代謝学Ⅱ	3	2			1			
	環境衛生工学	3	2				1		

生命計測工学	2		2	1	1				退職による変更(20)
健康・福祉工学	3		2	1	1				退職による変更(20)
生体医工学	3		2	1					
生物化学工学量論	2		2		1				
生物化学工学 I	2		2	1					
生物化学工学 II	2		2	1	1				教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
化学生物物質移動論	2		2	1	1				退職による変更(20)
化学生物分離工学	3		2	1	1				退職による変更(20)
生物化学工学演習	3		2		1			+	授業担当教員の変更(22)
精密分離工学	3		2	1					
生物反応工学	3		2		1				
バイオインダストリー	3		2		1				
データ解析概論	2		2		1				
システム工学	3		2		1				
バイオインフォマティクス	3		2						
電気工学概論	2		2				1		教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21) 授業担当教員の変更(22)
電子工学概論	2		2	1					教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21) 授業担当教員の変更(22)
機械工学概論	2		2	1					教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21) 授業担当教員の変更(22)
英語コミュニケーション	2		2						
工学倫理と安全管理	3		2	7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20,21) 教育体制充実のため教員を追加(22)
生命工学実験 I	3	1		1	1				
生命工学実験 II	3	1			1	1			
生命工学実験 III	3	1		1			1		
生命工学実験 IV	3	1		2 1	1				退職による変更(20,21) 授業担当教員の変更(22)
生命工学実験 V	3	1		1	1			1	授業担当教員の変更(22)
生命工学実験 VI	3	1		1 1	1		1		退職による変更(20) 授業担当教員の変更(22)
生命工学実験 VII	3	1		1	1				
生命工学輪読	4	2		7 6 7	5 6	1	2	1	退職による変更(20,21) 教育体制充実のため教員を追加(22)

	卒業論文	4	10		7	5	1	2	1	退職による変更(20,21) 教育体制充実のため教員を追加(22) 教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
	基礎技術実習	2		1		6	1			
	創造工学特別実習1	1		1						
	創造工学特別実習2	2		1						
	創造工学特別実習3	3		1						
	生命工学特論	1・2・3・4		2						
教職科目	職業指導	3		4						教育職員免許法の改正に伴う削除(22)
	総合演習	3		2						

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	113	24	149	12	113	20	145	
				[]	[]	[Δ4]	[Δ4]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	睡眠の科学	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し平成21年度より「生活の科学」に統合
2	宇宙の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
3	物質の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
4	量子の世界	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
5	総合演習	2	3	専門	自由	教育職員免許法の改正に伴う削除

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学教養教育の見直しにより、「睡眠の科学」について、関連の深い「生活の科学」と統合した。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 全学教養教育の見直しにより、「宇宙の構造」、「物質の構造」及び「量子の世界」について、それぞれの内容を「物理の世界」として統合し、物理に関し体系的な教育を行うこととした。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 「総合演習」は教育職員免許法の改正に伴う削除であり、新科目の「教職実践演習」は本学人間発達科学部開講科目として対応することとした。 ・ 学生への周知方法は「教養教育ガイドブック」及び「工学部シラバス」として配付するとともに、オリエンテーション等で周知を図った。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 環境応用化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養 科目 系	哲学のすすめ	1・2		2								
	人間と倫理	1・2		2								
	こころの科学	1・2		2								
	現代と教育	1・2		2								
	日本の歴史と社会	1・2		2								
	東洋の歴史と社会	1・2		2								
	西洋の歴史と社会	1・2		2								
	日本文学	1・2		2								
	外国文学	1・2		2								
	言語と文化	1・2		2								
	音楽	1・2		2								
	美術	1・2		2								
	社会 科学 系	社会科学の方法と理論	1・2		2							
現代社会論		1・2		2								
日本国憲法		1・2		2								
国家と市民		1・2		2								
経済生活と法		1・2		2								
市民生活と法		1・2		2								
経済・経営データを読む		1・2		2								
企業と仕事		1・2		2								
世界経済の過去と現在		1・2		2								
日本の経済と産業		1・2		2								
日本の企業経営		1・2		2								
地域の経済と社会・文化		1・2		2								

自然科学系	地球と環境	1・2		2			1		教育体制充実のため教員を追加(20) 授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22) 教育体制充実のため教員を追加(20) 授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22) 授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22) 授業科目の見直しによる科目の追加(22) 授業科目を見直し平成21年度より「生活の科学」に統合(22)
	生命の世界	1・2		2					
	宇宙の構造	1・2		2					
	化学物質の世界	1・2		2	4	1		1	
	物質の構造	1・2		2					
	量子の世界	1・2		2					
	物理の世界	1・2		2					
	自然と情報の数理	1・2		2					
	社会と情報の数理	1・2		2					
	技術の世界	1・2		2					
	材料の科学	1・2		2					
	生活の科学	1・2		2					
	睡眠の科学	1・2		2					
	コンピュータの話	1・2		2					
	教養原論演習	1・2		4					
総合科目	環境	1・2	2		1	1			教育体制充実のため教員を追加(20)
	生と死	1・2	2						
	ジェンダー(性)	1・2	2						
	技術と社会	1・2	2			1			
	現代文化	1・2	2						
	人権と福祉	1・2	2						
	環日本海	1・2	2						
	科学と社会	1・2	2		1				
	現代の世界(時事的問題)	1・2	2						
	トータルコミュニケーション	1・2	2						
	富山学ーわたしの富山	1・2	2						
	心(こころ),身体(からだ),そして生命(いのち)	1・2	2						
	感性をはぐくむ	1・2	2						
	総合科目特殊講義	1・2	2						
	日本事情	1・2	6						

共通 基礎 科目	英語A	1	4								
	英語B	2		4							
	ドイツ語A	1	4								
	ドイツ語B	2		4							
	フランス語A	1	4								
	フランス語B	2		4							
	ロシア語A	1	4								
	ロシア語B	2		4							
	中国語A	1	4								
	中国語B	2		4							
	朝鮮語A	1	4								
	朝鮮語B	2		4							
	ラテン語B	2		2							
	日本語A	1	4				1				
	日本語B	2		4							
	保健 体育 科目	健康・スポーツ論	1・2	3							
健康・スポーツ演習		2	2								
健康スポーツ		1・2	4								
情報 処理 科目	情報処理	1	2		1	1		1		退職及び教育体制充実のため 教員を追加(20)	
言語 表現 科目	言語表現	1	2			1					
専門 基礎 科目	微分積分Ⅰ	1	2								
	微分積分Ⅱ	1	2								
	微分積分演習	1	1								
	線形代数Ⅰ	1	2								
	線形代数Ⅱ	1	2								
	応用数学	2	2			1				授業担当教員の変更(22)	
	物理学序論	1	2								
	力学・波動	1	2								
	電磁気学	2	2								
	基礎化学	1	2		1						
	基礎生物学	1	2								

	有機化学	1	2	1	2 1				教育体制充実のため教員を追加 (21) 授業担当教員の変更 (23)
	無機化学	1	2	1					
	物理化学 I	1	2	1					
	物理化学 II	2	2		1				
	分析化学	1	2	1	1				授業担当教員の変更 (22)
	生化学 I	2	2	1					
	生化学 II	2	2		1				
	生命工学概論	4	2						教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更 (21)
	環境応用化学概論	1	2	7	6	1	3	4	退職による変更 (20、21、22)
	材料機能工学概論	4	2						教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更 (21)
	専門基礎ゼミナール	1	2	7	6	1	3	4	退職による変更 (20、21、22)
	工学基礎実験	2	1		3 7	5 6	2	3	退職による変更 (20、21、22) 授業担当教員の変更 (23)
	工学基礎演習	2	2		3 7	5 6	3	3	退職による変更 (20、21、22) 授業担当教員の変更 (23)
専攻科目	分離分析化学	2	2	1					
	機器分析	2	2	1					
	高分子合成化学	2	2	1					
	高分子物性化学	2	2		1				
	有機構造化学	2	2	1					
	有機工業化学	2	2		1				
	無機分子工学	2	2	1					
	量子分子工学	2	2	1					
	化学工学概論	2	2				1		
	反応工学	2	2	1					
	基礎生命分子化学	2	2		1				
	環境応用化学実験	3	8	7	5 6	1	3	4	退職による変更 (20、21、22)
	分子構造解析	3	2	1					
	環境保全化学	3	2		1				
	分子構造解析演習	3	2	1				1	授業担当教員の変更 (22)
	環境分析化学演習	3	2		1				

工業有機化学演習	3		2					1		
工業物理化学演習	3		2					1		
触媒エネルギー化学	3		2			1				
高分子材料化学	3		2			1				
反応有機化学	3		2			1				
有機反応分子工学	3		2			1				
有機材料工学	3		2				1			
無機材料化学	3		2			1				
生命分子工学	3		2				1			
界面材料工学	3		2				1			
工学倫理と安全管理	3		2			7	6	1	3	退職による変更(20、21、22)
英語コミュニケーション	2		2							
創造工学特別実習1	1		1							
創造工学特別実習2	2		1							
創造工学特別実習3	3		1							
環境応用化学特論	1・2・3・4		2							
環境応用化学輪読	4	2				7	6	1	3	退職による変更(20、21、22)
卒業論文	4	10				7	6	1	4	退職による変更(20、21、22)
教職科目										
職業指導	3			4						
総合演習	3			2						教育職員免許法の改正に伴う削除(22)

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	104	24	133	5	104	20	129	
				[]	[]	[Δ4]	[Δ4]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	睡眠の科学	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し平成21年度より「生活の科学」に統合
2	宇宙の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
3	物質の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
4	量子の世界	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
5	総合演習	2	3	専門	自由	教育職員免許法の改正に伴う削除

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学教養教育の見直しにより、「睡眠の科学」について、関連の深い「生活の科学」と統合した。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 全学教養教育の見直しにより、「宇宙の構造」、「物質の構造」及び「量子の世界」について、それぞれの内容を「物理の世界」として統合し、物理に関し体系的な教育を行うこととした。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 「総合演習」は教育職員免許法の改正に伴う削除であり、新科目の「教職実践演習」は本学人間発達科学部開講科目として対応することとした。 ・ 学生への周知方法は「教養教育ガイドブック」及び「工学部シラバス」として配付するとともに、オリエンテーション等で周知を図った。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 材料機能工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文 系 教養 科目 論	哲学のすすめ	1・2		2								
	人間と倫理	1・2		2								
	こころの科学	1・2		2								
	現代と教育	1・2		2								
	日本の歴史と社会	1・2		2								
	東洋の歴史と社会	1・2		2								
	西洋の歴史と社会	1・2		2								
	日本文学	1・2		2								
	外国文学	1・2		2								
	言語と文化	1・2		2								
	音楽	1・2		2								
	美術	1・2		2								
	社会 科学 系	社会科学の方法と理論	1・2		2							
現代社会論		1・2		2								
日本国憲法		1・2		2								
国家と市民		1・2		2								
経済生活と法		1・2		2								
市民生活と法		1・2		2								
経済・経営データを読む		1・2		2								
企業と仕事		1・2		2								
世界経済の過去と現在		1・2		2								
日本の経済と産業		1・2		2								
日本の企業経営		1・2		2								
地域の経済と社会・文化	1・2		2									

自然科学系	地球と環境	1・2		2						<p>授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)</p> <p>昇任による変更(20) 授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)</p> <p>授業科目を見直し「物理の世界」に統合(22)</p> <p>授業科目の見直しによる科目及び教員の追加(22)</p> <p>退職及び教育体制充実のため教員を追加(20) 退職による変更(22) 退職及び昇任による変更(23)</p> <p>教育内容充実のため授業科目を見直し平成21年度より変更(22)</p>
	生命の世界	1・2		2	1					
	宇宙の構造	1・2		2						
	化学物質の世界	1・2		2						
	物質の構造	1・2		2	1	1				
	量子の世界	1・2		2						
	物理の世界	1・2		2	1					
	自然と情報の数理	1・2		2						
	社会と情報の数理	1・2		2						
	技術の世界	1・2		2						
	材料の科学	1・2		2	3 1 2 3	1 4 3				
	生活の科学	1・2		2						
	睡眠の科学	1・2		2						
	コンピュータの話	1・2		2						
教養原論演習	1・2		4							
総合科目	環境	1・2		2						<p>昇任による変更(20) 退職による変更(23)</p> <p>退職による変更(20)</p>
	生と死	1・2		2						
	ジェンダー(性)	1・2		2						
	技術と社会	1・2		2	1 2 1	1 2				
	現代文化	1・2		2						
	人権と福祉	1・2		2						
	環日本海	1・2		2						
	科学と社会	1・2		2		1				
	現代の世界(時事的問題)	1・2		2						
	トータルコミュニケーション	1・2		2						
	富山学ーわたしの富山	1・2		2						
	心(こころ),身体(からだ),そして生命(いのち)	1・2		2						

	感性をはぐくむ	1・2	2							
	総合科目特殊講義	1・2	2							
	日本事情	1・2	6							
共通基礎科目	英語A	1	4							
	英語B	2		4						
	ドイツ語A	1	4							
	ドイツ語B	2		4						
	フランス語A	1	4							
	フランス語B	2		4						
	ロシア語A	1	4							
	ロシア語B	2		4						
	中国語A	1	4							
	中国語B	2		4						
	朝鮮語A	1	4							
	朝鮮語B	2		4						
	ラテン語B	2		2						
	日本語A	1	4							
	日本語B	2		4						
保健体育科目	健康・スポーツ論	1・2	3							
	健康・スポーツ演習	2	2							
	健康スポーツ	1・2	4							
情報処理科目	情報処理	1	2			1		1		教育体制充実のため教員を追加 (20)
言語表現科目	言語表現	1	2							
専門基礎科目	微分積分 I	1	2			1				教育体制充実のため教員を追加 (23)
	微分積分 II	1	2			1				授業担当教員の変更(23)
	微分積分演習	1	2			1	3	1		教育体制充実のため教員を追加 (20, 22) 授業担当教員の変更(23)
	線形代数 I	1	2							
	線形代数 II	1	2							
	応用数学	2	2					1		

固体物性工学序論	2	2	1	+		昇任による変更(20)
固体物性工学 I	3	2	+	+		昇任による変更(20) 授業担当教員の変更(23)
固体物性工学 II	3	2	1	+		昇任による変更(20)
水溶液物理化学	3	2	1	+		教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21) 昇任による変更(23)
循環資源材料工学 I	2	2	1	+	+	昇任による変更(21、23)
循環資源材料工学 II	3	2	1	+		昇任による変更(23)
循環資源材料工学 III	3	2	1			
材料強度学	3	2	+			兼1 退職による変更(23)
素形材工学 I	3	2	+	1		教育体制充実のため教員を追加(21) 退職による変更(23)
素形材工学 II	3	2		1		
組織制御工学	3	2	+			兼1 退職による変更(23)
粉体工学	2	2	+	1		退職による変更(22) 授業担当教員の変更(23)
粉体物性工学	2	2		1		
微粒子工学	3	2		1		
粉体プロセス工学	3	2	+			退職による変更(22)
化学工学量論	2	2		1		
移動現象論 I	2	2		1		
移動現象論 II	3	2			1	
材料力学 I	4	2				教育効果を考慮し、平成21年度より配当年度を変更(21)
材料力学 II	2	2				
材料機能工学	3	2	1	+		昇任による変更(22)
材料環境学	3	2	1	+	+	昇任による変更(21、23)
材料物理化学	3	2	1			
生物材料基礎	2	2	1			
生物材料化学応用	3	2	1			
生物材料物性応用	3	2	1			
材料機能工学演習 I	3	2	1 -	1 -	1 +	退職及び昇任による変更(20、21、23)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	睡眠の科学	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し平成21年度より「生活の科学」に統合
2	宇宙の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
3	物質の構造	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
4	量子の世界	2	1・2	一般	自由	授業科目を見直し「物理の世界」に統合
5	総合演習	2	3	専門	自由	教育職員免許法の改正に伴う削除

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学教養教育の見直しにより、「睡眠の科学」について、関連の深い「生活の科学」と統合した。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 全学教養教育の見直しにより、「宇宙の構造」、「物質の構造」及び「量子の世界」について、それぞれの内容を「物理の世界」として統合し、物理に関し体系的な教育を行うこととした。本科目は、自由科目であり卒業要件単位に影響しない。 ・ 「総合演習」は教育職員免許法の改正に伴う削除であり、新科目の「教職実践演習」は本学人間発達科学部開講科目として対応することとした。 ・ 学生への周知方法は「教養教育ガイドブック」及び「工学部シラバス」として配付するとともに、オリエンテーション等で周知を図った。
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部	4		3年次		学士		昭和52	富山市五福3190番地	
人文学科		185	7	754		1.03			
計		185	7	754		1.03			
人間発達科学部	4				学士		平成17	〃	
発達教育学科		80		320		1.02			
人間環境システム学科		90		360		1.01			
計		170		680		1.02			
経済学部	4		3年次		学士		昭和28	〃	
(昼間主コース)						1.04			
経済学科		155	} 10	620		1.05			
経営学科		135		540		1.04	昭和49		
経営法学科		115		460		1.03	昭和54		
(夜間主コース)						1.17			
経済学科		20		80		1.17			
経営学科		20		80		1.23			
経営法学科		20		80		1.12			
計		405	10	1,640					編入学者数は、昼間主コース計に含める
理学部	4		3年次		学士		昭和50	〃	
数学科		50	} 4	200		1.05			
物理学科		40		160		1.06			
化学科		35		140		1.03			
生物学科		35		140		1.05			
地球科学科		40		160		1.00			
生物圏環境科学科		30	120		1.10	平成5			
計		230	4	928		1.05			編入学者数は、学部計に含める
医学部					学士		昭和50	富山市杉谷2630番地	
医学科	6	105	2年次5	605		1.00			平成22年度に入学定員を医学科100→105,看護学科60→80に変更
看護学科	4	80	3年次10	300		0.99	平成5		医学科入学定員のうち、5人は「緊急医師確保対策」に基づき、平成29年度までの措置。
計		185	15	905					

薬学部				学士	昭和51			
薬学科	6	55		330	1.03	平成18		
創薬科学科	4	50		200	1.06	平成18		
計		105		530				
工学部	4		3年次	学士	昭和24	富山市五福3190番地		
電気電子システム工学科		88	}	352	1.04	平成9		
知能情報工学科		72		288	1.05	平成9		
機械知能システム工学科		90		20	360	1.11	平成9	
生命工学科		52		208	1.02	平成20		
環境応用化学科		52		208	1.04	平成20		
材料機能工学科		51		204	1.01	平成20		
計		405	20	1,660	1.05		編入学者数は、学部計に含める	
芸術文化学部	4			学士	平成17	高岡市二上町180番地		
芸術文化学科		115		460	1.04			
計		115		460	1.04			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」欄には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 生命工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	6	1	2	16	1	7	5	1	2	15	1	
(5)	(5)	(1)	(2)	(13)	(1)	[]	[Δ1]	[]	[]	[Δ1]	[]	

<工学部 環境応用化学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	6	1	4	18	0	7	5	1	3	16	0	
(6)	(4)	(1)	(4)	(15)	(0)	[]	[Δ1]	[]	[Δ1]	[Δ2]	[]	

<工学部 材料機能工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	7	0	2	16	2	6	4	0	3	13	0	
(6)	(6)	(0)	(2)	(14)	(3)	[Δ1]	[Δ3]	[]	[1]	[Δ3]	[Δ2]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<工学部 生命工学科>

<工学部 環境応用化学科>

<工学部 材料機能工学科>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年 7月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/public/info/setti/index.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AO報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。